

会派視察研修計画書

平成30年6月1日

碧南市議会議長 様

会派名 市民クラブ

代表者名 神谷 悟

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	神谷 悟・杉浦 文俊・石川 輝彦		
日 時	平成30年8月1日（水）～平成30年8月3日（金）		
視 察 先	8月1日（水）	北海道室蘭市	
	8月2日（木）	北海道由仁町	
	8月3日（金）	北海道岩見沢市	
研 修 内 容	室蘭市・・・観光行政の取り組みについて 由仁町・・・防災対策の取り組みについて・表敬訪問 岩見沢市・・・病院経営の取り組みについて		
日 程	8月1日（水）	北海道室蘭市	14:00～16:00
	2日（木）	北海道由仁町	13:30～15:00
	3日（金）	北海道岩見沢市	10:00～12:00
交 通 手 段	公共交通機関利用 <input checked="" type="checkbox"/> 航空機利用	自家用車利用 _____ 台 所有者名 (_____)	
	乗降車駅名 (碧南中央駅)		

会派視察研修報告書

平成30年 8月24日

碧南市議会議長 様

会派名 市民クラブ

代表者名 神谷 悟

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加議員 3名 分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	神谷 悟 ・ 杉浦 文俊 ・ 石川 輝彦 (市民クラブ・公明党・みらいクラブ合同視察)		
日 時	平成30年8月1日（水）～平成30年8月3日（金）		
視 察 先	8月1日（水）	北海道室蘭市	
	8月2日（木）	北海道由仁町	
	8月3日（金）	北海道岩見沢市	
研 修 内 容	室蘭市・・・観光行政の取り組みについて 由仁町・・・防災対策の取り組みについて 岩見沢市・・・病院経営の取り組みについて		
日 程	8月1日（水）	北海道室蘭市	14:00～16:00
	2日（木）	北海道由仁町	13:30～15:00
	3日（金）	北海道岩見沢市	10:00～12:00
備 考			

※相手方から收受した資料の写しを添付してください。

会派視察研修報告書

平成30年 8月 24日

議員氏名 杉浦 文俊

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 平成 30年 8月 1日（水）～平成 30年 8月 3日（金）
- 2 視察先 北海道室蘭市、北海道由仁町、北海道岩見沢市
- 3 視察の種類 市民クラブ会派視察
- 4 視察の成果等

《観光行政の取り組みについて》・北海道室蘭市

- ・室蘭市は、港町として栄え時代と共に製鉄・製鋼、環境・エネルギーといった工業都市として発展した。北海道有数の工業都市でありながら、山や海に囲まれ、美しい自然が広がり工場夜景を始めとする人工的な夜景と、地球岬やトッカリショ等の自然が造り出した自然景観がバランスよく共存している市である。
- ・観光名所は自然景観が多いため、有料の観光施設が少ない状況である。そこで、工場夜景を有効活用した工場見学バスやナイトクルージング等を取り入れ、有料の観光名所として取り入れている。
- ・観光入込客数は120万人ほどで推移し、外国人観光客も近年急増している。近隣に登別温泉や洞爺湖といった観光地から、宿泊費の安い室蘭市に宿泊する傾向にある。
- ・室蘭市観光推進計画は平成元年に作成し、平成31年度着手完了し、平成32年度実施を目指している。観光地区として近隣市町と連携し、登別洞爺広域観光圏（3市4町）、北海道新幹線NITTA地域戦略会議（4市14町）など広域観光に力を入れ取り組んでいる。外国人観光客に対しては、ホテルに外国人観光客へのマップの配布、スマホ決済システムの導入（試験）、受け入れ研修などを行っている。
- ・今回視察をし、観光事業などは市単独では限りがあるので、広域で展開する事が主流になっていると感じた。碧南市は常滑市、半田市、西尾市と共に「竜の子街道プロジェクト」を広域的に進める中、宿泊場所として外国人観光客が碧南市を利用しているなど、似たような状況である。今後、市内の店で買い物をしてもらえるように、土産屋や語学が堪能な人材育成など環境整備をしつつ、室蘭市の景観事業の様に、限りある資源を有効活用する市単独での強みを生かす取り組みの強化も必要であると感じる。



《防災施策の取り組みについて》・北海道由仁町

- ・友好姉妹都市である由仁町では、平成23年度に東日本大震災をきっかけに備蓄品整備（600食）を開始した。平成25年度には北海道が作成した地域防災整備方針を基に、補助率1/2の交付金を利用しながら3ヶ年計画で備蓄品数（900食）を見直した。数量の設定方法として、災害の恐れが最も高い夕張川洪水ハザードマップから浸水想定世帯数を算出し、世帯数と合わせ想定避難者数を決定し、被災地は災害から3日は孤立状態が懸念されることから、想定避難者数300人×3日分の食料や衣服を整備している。
- ・道内に設置が進んでいる特設公衆電話は、NTT東日本からの申し出により設置に至り、公民館など避難所に設置し、普段は使用できないが災害時には優先的に無料で通話をすることができる。工事費はNTT負担、電話機は由仁町負担となる。
- ・行政・民間・住民との連携として、町民は平時から備える事、有事の際は助け合う事を責務（自助・共助）とし、民間との連携は、建設協会では建設機械・資材の提供。LPガス災害対策協議会ではLPガスの供給、簡易コンロの手配。コカ・コーラボトリングとは災害対応型自動販売機から飲料の提供、電光掲示板での情報提供。他にも石油協同組合、セブンイレブンといった災害時に備えた連携協定を進めている。
- ・碧南市では、南海トラフ大地震に備えた民間との協定や、市民の防災意識の向上への取り組みを行っているが、今回視察した特設公衆電話や災害対応型自動販売機は設置に至っていない。引き続き提言をしていきたい。



《病院経営の取り組みについて》・北海道岩見沢市

- ・岩見沢市立総合病院は、内科外科をはじめとした15の診療科を有し、南空知地域保健医療福祉圏内において地域センター病院として、災害拠点病院に指定されている。
- ・平成27年度自治体病院「純医業収支」ランキングでは全国25位（碧南市636位）と平成6年から平成22年まで黒字経営されている。
- ・病床数は碧南320床に対し484床、職員数は碧南380人に対し503人と医師は2名碧南市の方が多いが、看護師は岩見沢市が80名ほど多く看護配置は碧南7：1に対し10：1である。一般会計繰入金金は碧南13.4億に対し7.5億である。
- ・黒字経営への効果的な取り組みとして、はっきりとした理由は不明だが、職員の無駄の削減などによる意識改革ではないかと話された。碧南市民病院は、建て替え、西尾市との連携や統合といった問題、少子高齢化といった社会情勢、医師介護士の確保など様々な問題を抱えるが、経営改善に引き続き向け取り組む必要性を再確認できた。



視察研修成果報告書

平成30年 8月24日

議員氏名 石川輝彦

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 平成30年 8月 1日（水）～平成30年 8月 3日（金）
- 2 視察先 北海道室蘭市・北海道由仁町・北海道岩見沢市
- 3 視察の種類 会派視察（市民クラブ・公明党・みらいクラブ合同視察）
- 4 視察の成果等

【室蘭市・・・観光行政の取り組みについて】

- やっと碧南市でも観光行政の強化に対する議論が始まった。同じ工業都市として発展してきた室蘭市ではあるが、観光の面も力を入れており、取り組みを参考にしたく視察を行った。
 - 室蘭市は工場夜景をはじめとする「人口的な景観」と、地球岬やトッカリシヨ等の自然が作り出した「自然景観」がバランスよく共存する市である。
 - 室蘭市の観光の現状として、名所は自然景観が中心であり、有料施設がないため、現在は工場や夜景を楽しむ夜景見学バスやナイトクルージングを取り入れ、お金が取れる観光にも力を入れている。また、外国人観光客も増加しており、隣市にある登別温泉は金額が高いため、ビジネスホテル中心の室蘭市に宿泊者が流れてきているとのことであった。
 - 室蘭市では「観光推進計画」が平成元年に策定されており、10年ごとに2度改定し、平成31年度の3回目の改定を進め、「観光で消費額を稼ぐ」取り組みを進めて行くとのことである。また、近隣市との連携の強化を目指し、登別洞爺広域観光圏（3市4町）や北海道新幹線NITAN地域戦略会議（4市14町）とも連携をして行くとのことである。
 - 外国観光客への対応として、ホテルに外国人観光客向けのマップ配布や受け入れ研修、スマホ決済システムも試験導入していた。また、市内の観光客が集まるところには、Wi-Fiが無料で取れるようになっていた。
 - また、滞在型フォトコンテスト「撮りフェスin室蘭」も開催されており、昨年は大賞や準大賞等38点を選出し、市外での写真展を開催し、市のPRを実施していた。
- ◇室蘭市は限り少ない観光資源を活用し、「稼げる観光」を展開していると感じた。碧南市においても、まずは“市のやる気”を見せるためにも、観光推進計画と責任ある部署が必要であると感じる。また、碧南市だけではなかなか観光客が見込めない現状であると感じるため、現在仕掛けている「竜の子街道」も成功に向けて取り組みを強化する必要があると思う。



【由仁町・・・防災施策の取り組みについて】

- ・北海道には防災用の特設公衆電話が多く設置されており、友好姉妹都市でもある由仁町にも設置されているため、防災全般に渡り勉強するため、視察を行った。
 - ・由仁町では「地域防災備蓄方針」に基づき、備蓄品を購入して備えられている。品目と数量の設定では、災害の恐れが最も高いと考えられる夕張川の洪水を想定し、洪水ハザードマップから浸水想定世帯数を算出し、災害発生から3日間は平時のルートによる供給や外部からの支援が困難になる可能性が高いことから、3日分の食料・衣類を整備している。
 - ・特設公衆電話では、NTT東日本から町の避難所への設置依頼により、設置されている。工事費用はNTT東日本が、電話機は電気が不必要なものを町が準備している。しかし、設置してから災害が発生していないため、利用したことがないとのことである。
 - ・行政・民間・市民との連携では、「自助・共助・公助」が効果的に進められるよう防災計画総則に記載し、町民は平時の備えから災害時の対策まで、また民間との連携では、建設業界やLPG、石油なども協定を締結し、北海道コカ・コーラボトリングとは「災害対応型自動販売機」を設置、セブンイレブンは食料・飲料、日用品などの提供を協定締結されていた。
- ◇碧南市ではいつ起きてもおかしくない東南海地震がある。現在、市民やそれぞれの業界との協定を締結し備えているが、由仁町が行っている「特設公衆電話」や「災害対応型自動販売機」の設置が進んでいない。考えられる備えを、今後も引き続き行っていく必要がある。



【岩見沢市・・・病院経営の取り組みについて】

- ・岩見沢市民病院では、自治体病院であるにも関わらず、黒字経営がされており、平成27年度の自治体病院「準医業収益」ランキングでも全国で21位となっている。この岩見沢市立総合病院の経営手法を勉強し、碧南市に繋げるため視察を行った。
 - ・岩見沢市立総合病院は、昭和2年に岩見沢町立病院として開院し、その時から付属の看護婦養成所を設置している。相和18年に市制施行に伴い市立病院となり、昭和32年に市立総合病院となっている。
 - ・電子カルテの導入も平成29年度からで、また調剤も院内で行っており、これらについては碧南市の方が先進地であるといえるが、全ての薬を院内から提供しているため、利益も増えているとのことであった。
 - ・病院新改革プランも、内容は碧南市ともものほぼ同様であると感じているが、最終的な健全経営がなされている病院である。
 - ・病床数は碧南市の約1.5倍あるのにも関わらず、医師数は碧南市よりも2名少ない。しかし、看護師数は碧南市の約1.5倍の人数で対応している。また、平均年齢も碧南市より約4歳も若い。
 - ・このような体制ではあるが、医師一人当たり約2億円の収入があり、一般会計からは碧南市の約半分の約7億5千万円しか繰り入れておらず、決算も黒字となっている。
 - ・医師の確保については、碧南市同様に市長と医院長自らが大学病院に出向き、医師の依頼を行っているとのことである。
 - ・黒字化になったタイミングとしては、講演会を実施し、その講演会を機会に、病院に従事している者への意識の転換があったのではないかとのことである。
- ◇黒字経営をされている自治体病院を視察させていただくと、そのほとんどの自治体病院で働くものの考え方の転換が必要であると言われていることから、碧南市においても行う必要性があると感じる。また、病院を立て直すには医師の確保が必須であり、市長や医院長の更なる強化が必要と感じる。



視察研修成果報告書

平成30年 8月 24日

議員氏名 神谷 悟

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

1 期 間

・平成 30年 8月 1日（水）～ 8月 3日（金）

2 視察先

- ・北海道室蘭市（観光行政の取り組みについて）
- ・北海道由仁町（防災対策について）
- ・北海道岩見沢市（病院経営の取り組みについて）

3 視察の種類

・3党派合同視察研修（市民クラブ・みらいクラブ・公明党）

4 視察の成果等

★目的

○私たち3党派（市民クラブ・みらいクラブ・公明党）は、上記の日程で視察を実施させていただきました。碧南市において、10年後のあるべき姿に向け、しっかりと今から取り組まなければいけない課題を選択しました。今回は、観光、防災、病院経営と研修項目を決め、本市に活用できる施策においては、一般質問や委員会等にて提言を実施し、安全で住みやすいまち碧南の実現を目指すため視察を行いました。

室蘭市役所視察風景にて

◆テーマ：観光行政の取り組みについて

（室蘭市⇒1日目）

◇室蘭の観光の現状

- ・観光名所は自然景観が中心で、有料の観光施設が少ない。
- ・取り組みとして、観光以外の資源を観光化する
[工場+夜景=夜景見学バスやナイトクルージング]
土曜日に31回実施⇒1,300人の集客



- ・観光入込客数は120万人/年間で推移（外国人宿泊者の増加）
札幌のホテルより室蘭のホテルの方が安いいため、札幌で観光して夜に室蘭に入り、宿泊をする傾向にある。（碧南市と同様な傾向であると考えられる）

◇室蘭観光推進計画について

- ・設置経緯
平成元年に作成、平成10年、平成20年、2度改定。
平成31年着手・完了し、平成32年度実施を目指す。

◇広域観光への取り組みについて

- ・登別洞爺広域観光圏(3市4町)
- ・北海道新幹線NITTAAN地域戦略会議（4市14町）

◇外国人観光客に対する取り組みについて

- ・ホテルに外国人観光客へのマップを配布
- ・スマホ決済システム試験導入（13箇所）
- ・外国人観光客受け入れ研修

◇行政・民間・市民団体との連携

- ・室蘭観光推進連絡会議

◇今後の課題

- ・市の歴史・風土・景観・文化を演出（ストーリー性の付加）

室蘭市議場にて



室蘭市役所前にて



【所感】

今回、室蘭市の観光行政について、視察を実施させていただきました。室蘭市は碧南市とは違い、山や海に囲まれ、美しい自然が広がり、また、北海道有数の工業都市であるため人工的な工場夜景などがあり観光に関しては非常にバランスが取れたまちであると感じました。広域観光にも取り組みの強化を進めているようで碧南市としても竜の子街道（常滑市・半田市・西尾市・碧南市）プロジェクトを進めていますので、大変参考になりました。ポイントとなる点として、自由に英語等を会話できる人材が必要。お土産店、商店街の整備。そして、取り組みの成果がひと目で分かるように、データ化を進めることだと認識しました。このことをしっかりと理解し、碧南市の地域経済の活性化、好循環につながるよう提言していきます。

◆テーマ：防災施策の取り組みについて（由仁町⇒2日目）

由仁町役場にて

◇由仁町の近年の災害状況（地震）について

- ・H15年9月十勝沖地震⇒由仁町震度4.5
- ・H25年2月十勝地方南部地震⇒由仁町震度3

◇由仁町の近年の災害状況（風水害）について

- ・S56年大雨災害 雨量417mm
（被害総額 13億2,000万円）
- ・H30年7月豪雨 雨量 約70mm
（被害総額 北海道全域で100億強）

◇地域防災備蓄整備方針について

- ・きっかけは東日本大震災⇒北海道地域づくり総合交付金（北海道の単独事業）補助率1/2

○内容

- ・想定避難者数300人×3日分の食料、衣類などを整備することとした。



視察風景（役場にて）



◇特設公衆電話について

○特設公衆電話とは

- ・大規模災害時に誰でも無料で使用できる公衆電話サービス
- ・大規模災害時には一般の電話より優先的に通話可能

○設置までの流れ

- ・N T T東日本から町へ避難所施設への特設公衆電話の設置依頼があり
- ・回線工事 ※工事費用⇒N T T東日本が負担 電話機費用⇒由仁町が負担

【所感】

今回由仁町に視察を実施するにあたり、調査研究を行いたい項目のひとつに特設公衆電話の設置・経緯でありました。設置箇所は公共施設（避難所）であり、設置工事費は、N T T東日本が無料で実施していただき、由仁町としては電話機本体を揃えるだけで費用負担も非常に少なく、大規模災害には通話不能となる確率が高い携帯電話と違い、優先的に通話ができるため費用対効果も高く、是非碧南市にも設置できるように提言していきたいと感じました。

◆病院経営の取り組みについて（岩見沢市→3日目）

◇岩見沢市立総合病院の概要

○役割

- ・内科、外科をはじめとする15の診療科を有し、南空知地域保健医療福祉圏域内（4市5町）において、救急医療、小児医療及び高度医療などに対応可能な地域センター病院として、圏域内の中核的な役割を担っているほか、災害拠点病院、地域周産期母子医療センターにも指定されています。

○職員数・病床数

- ・516人（平成30年5月）・484床

○経営状況

- ・平成6年度から22年連続で黒字を確保

○経営の効率化

- ・経営指標に係る数値目標を決め、経営改善に取り組む⇒①収支改善、②経費削減、③収入確保、④経営の安定性と項目を決め、データ管理し、経営改善に取り組む

【所感】

平成27年度の自治体病院「純医業収支」ランキングでは、全国23位という岩見沢市立総合病院を視察させていただきました。一番効果がある取り組みをお聞きしたく、質問をしたところ、はっきりした答えがなく判断できないとのことでした。経営指標に係る数値目標を達成するため、職員全員で無駄の削減等に取り組んだ成果だと感じました。これから迎える少子高齢化、人口減少、医療技術の高度化・専門化への対応、医師確保など、厳しい環境が激化する中、碧南市民病院についても今後のあるべき姿に向け取り組んでいく必要性を再認識しました。

今回の研修、本当にありがとうございました。

神谷 悟

視察風景（病院にて）



岩見沢市立総合病院前にて

